

～大沢地区社協だより～

ころ

第43号

発行日 平成28年3月
発行 大沢地区社会福祉協議会
住所 相模原市緑区大島1776-5
大沢まちづくりセンター内
TEL 042 (761) 2610
編集 広報啓発事業部会

大沢地区社協ホームページアドレス <http://www.sagamiharashishakyo.or.jp/chikushakyo/osawa> (相模原市社協サイト内)

福祉コミュニティ形成事業



平成25年度から取り組んできた本事業も、地域福祉推進会議の設置期間3年間を終えようとしています。

『小地域での交流の場づくり』をテーマに、まずは地域の皆様に親しみを持って知っていただくことが第一と、愛称やマスコットキャラクターも用いて活動して来ました。

イベント型の「ドットこむ企画」は、3年間で7回を数え、大沢地区内各所で開催することができました。どの会場も、50名を超える地域の皆様にご参加いただき、回を重ねるごとにリピーターが増えるなど、大盛況な催しとして地域に根付いて来たのではないかと、委員一同喜んでおります。

勿論、開催にあたって地域の多くの皆様のご協力、ご尽力があつての賜物だと深く感謝しております。

また、昨年8月から毎週水曜日に開催している「大沢こむこむ茶屋」は、まだ上大島地区のみでの実施となっておりますが、これまで開放機会の少なかった自治会館を利用することにより、ちょっとした会合に使ったり、子ども達が安心して遊べる場所にもなったりと、当初の目的以外の効果も見られています。今後は、多世代交流の場を目指し、さらに展開していく予定です。

『大沢comcom』は、これからも地域の困りごとの解決にチャレンジし続けます！



おおさわ

コムコム ドット コム

大沢comcom.com



大沢地区社協 2015

～平成27年度活動報告～



大沢地区社会福祉協議会は、自治会・民生委員児童委員・公民館・親茶会・学校・PTA・地域包括支援センター・交通安全母の会・ボランティアなど、地域の皆さんと構成されています

募金活動



ご協力に感謝いたします！

福祉バザー



【売上金】
106,660円
【寄付物品数】
1,116点
【来場者数】
525名

つながる、地域の善意の輪♪

4月： 総会	5月： 給食サービス① 理事会	6月： ふくし実技体験 第6回大沢.com.com 構成員等視察研修会 福祉教育（大島小） 日本赤十字社社員増強運動	7月： ボランティアグループ・ サロン交流会 市社協賛助会員の募集	8月： 大沢こむこむ茶屋（毎月実施） 理事会	9月： 福祉映画会	10月： 福祉バザー 給食サービス② 福祉教育（丸沢小） 赤い羽根募金	11月： 福祉教育（大沢小） 給食サービス③	12月： 福祉講座 給食サービス④ 第7回大沢.com.com 理事会	1月： 年賀状で激励 給食サービス⑤	3月： 広報紙「ところ」発行 パネル展示（公民館まつり） 給食サービス⑥ 理事会 PR活動（おおさわ桜まつり）
-----------	-----------------------	---	--	------------------------------	--------------	---	------------------------------	---	--------------------------	--

ボランティアグループ



手作りのお弁当と一緒に
まごころをお届けします♪
（大沢配食スタッフ）

福祉映画会



今年「マダガスカル3」
を上映！エコキャップも
たくさん集まりました！





被介助者を交代しながら、体験コースを回ります。

今年度は児童数も多く、大島小学校127名、九沢小学校100名、大沢小学校173名と、総勢400名がハンディキャップ体験を経験しました。

どの体験も、初めて体験する子がほとんどで、これまで触れた事なかった器具に興味津々、初めのうちは、恐る恐るでしたが、各体験の説明やスタッフの指示をよく聞いて、真剣な表情で取り組んでいました。



今年度は、6月26日に大島小学校、10月16日に九沢小学校、11月6日に大沢小学校と、3校での実施となり、大勢のボランティアとともに、4年生を対象とした福祉体験授業に協力しました。

車いす・視覚障がい者

誘導（アイマスク・シ

ニア体験の3体験を、

3グループに分かれ

二人一組で、介助者・

福祉教育

今年度は学校施設の改修のため、通常は体育館を使用している体験を教室で行うなど、いつもと違う狭い場所での対応もあり、スタッフ側も戸惑いながらも、自分自身のスキルアップの機会となったようで、お互いに良い経験となったのではないのでしょうか。



この福祉体験授業は、児童が実行委員を中心に準備をしており、司会や体験もスムーズに進行しています。合唱や文集のプレゼントには、スタッフ一同、いつも感激しております！

この経験が子ども達の心の中に何かを残せれば良いなと、心地よい疲労感と充実感を感じています。



また、各校とも体験の前には、「相模原市肢体不自由児者父母の会」副会長の秋山勝美さんの福祉講話を実施しており、学習の中で疑問に感じた様々な事柄を、当事者に直接質問できる貴重な機会にもなっています。



ありがとう
ございました



募金活動

日本赤十字社 1,965,000円
市社協賛助金 1,887,800円
共同募金 2,625,046円



※ご協力いただいた募金は、市町村や福祉施設・団体等へ配分され、地域福祉活動や福祉施設の整備、福祉サービスの実施、ボランティア活動の促進・支援等に活用されています。

ご寄付をいただきました

大島観光協会 様
五和交通有限会社 様 他

エコキャップ回収運動

累計個数 799,791個
⇒ ポリオワクチン 930人分

※提供先の「エコキャップ相模原」でキャップを売却し、売却益を「世界の子どもにワクチンを日本委員会」(JCV) に寄付しています。

受賞おめでとうございます!

【相模原市社会福祉功労者表彰】

池田 由紀子 様
藤川 和子 様
(楽しく体を動かす会)

【相模原市社協社会福祉活動推進功労者表彰】

大貫 幸雄 様
桑原 ひさ子 様

【編集】 広報啓発事業部会

新事業も各地区で順調に回を重ね、福祉教育も3校での実施となりました。
一方で長く続いた事業が転換期を迎え、新年度には形を変えてスタートします。
時代のニーズに合わせて事業も変化していきますので、これからもご協力をお願いいたします!

編集後記

地域敬老事業

今年度から、新たな地域敬老事業としてスタートした本事業ですが、次のとおり、実施する事ができました。

①敬老訪問事業

対象者への訪問、祝品の贈呈……………約2,100名

②敬老事業助成金交付

自治会独自で実施する敬老会等への助成……11自治会

ご協力いただいた自治会・民生委員・地域の皆様には、厚くお礼申し上げます。

来年度以降も、同様の事業として継続して参りますので、ご理解、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

尚、来年度事業については、地区社協広報紙等で適宜お知らせいたします。

福祉講座

12月1日、今年度は「終活セミナー～エンディングノートの書き方～」と題し、誰もが避けられない“最後の時”に自らの意志で積極的に向き合い、自分らしくその時を迎えるための準備として、エンディングノートを使って“考える”機会となりました。介護・年金・保険・財産管理・治療方針・延命治療・相続・遺言・葬儀・遺影・遺品整理・お墓など、項目は多岐にわたります。自分の最後は自分で考える時代になり、残された人達が困らないよう、家族へのメッセージとして、書いておくことは必要だと感じました。

また、様変わりしつつある葬儀の話もあり、増加傾向の家族葬にも、一長一短があることを知りました。

本講座では、普段は話題にしにくいテーマも取り上げ、お役に立つ講座を目指します!



地域の皆様には、日頃より地区社協の事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

試行錯誤を重ね進めてきた福祉コミュニティ形成事業については、大沢地区に由来から引き継がれてきた「支えあい、助け合う」良い風土を生かせるよう、一層の推進と継続を図って参ります。また、従来事業についても、より良い事業となるよう見直し等を行い、地域福祉の向上のために今後も努力して参りますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

大沢地区社会福祉協議会 会長 吉村 幸弘